

令和4年度 かな福祉専門学校 学校関係者評価の結果報告

令和5年1月16日(月)に本校ゼミ室において令和4年度第2回学校関係者評価委員会が開催されました。以下、令和4年度学校関係者評価の概要を報告いたします。

【かな福祉専門学校 学校関係者評価委員会委員】

氏名	所属
亀田 由美 様	神川町地域包括支援センター兼 総合福祉センター 所長
上松 巧 様	特別養護老人ホーム千鳥の丘 施設長
岡野 秀隆 様	介護老人保健施設かみかわ 職員 介護福祉士 本校卒業生
塚田 純也	かな福祉専門学校 校長
川端 博	かな福祉専門学校 教務主任

1 学校関係者評価委員会次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶(学校の近況等)
- (3) 授業見学(2学年 医療的ケアⅣ)
- (4) 令和4年度学校自己評価の結果報告について
- (5) 質疑・意見交換(改善方法等)
- (6) 閉会

2 学校自己評価の結果報告に対する学校関係者評価の概要

(自己評価は 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1、の4段階で評価し、指標はそれぞれの平均値を表示した)

(1) 教育理念・目標

取組状況指標平均は、3.4である。

学校の教育目標や特色は、学生へのアンケートの結果より概ね学生に周知されている。但し、コロナ禍で来校が困難な保護者には充分には周知されていない。学生層が10歳代から50歳代と多世代にわたり、保護者を必要としない学生も多いが、保護者や家族が来校しやすい環境づくりを行っていく。また、ホームページの更新やお知らせなどを通して、保護者や地域にも学校の教育目標や特色を周知していく。

(2) 運営

取組状況指標平均は、3.3である。

学校は適切に運営されている。小規模校ゆえに、職員が一人ひとりに多様な仕事が任されているが、各分掌の見直しや仕事の効率化を図る。学生募集等の情報公開や周知活動は、ホームページやSNS等が活用されている。今後は、学校自己評価をはじめ学校運営に関する情報を積極的に公開し説明責任を果たしていく。

(3) 教育活動

取組状況指標平均は、3.2である。

教育到達レベルや学習時間は明確にされ確保されている。カリキュラムの見直しや施設実習等の位置づけ等の評価もほぼ適切である。

職員の能力開発のための研修の指標が2.8とやや低い結果になった。コロナ禍で校外研修の機会がなかった。今後は、校内研修やウェブ研修を充実し、校外研修にも積極的に参加して資質の向上に努めていく。

(4) 学修成果

取組状況指標平均は、3.3である。

就職率100%、退学者0名を目標に掲げ、学生一人ひとりに応じた指導や支援を行っている。

国家試験については、校内模擬試験や業者による模擬試験を実施し個別指導に生かした。また、11月からは週2回の課外補習を行い大きな成果を出すことができた。今後も学生の学習状況を把握し、更なる対策や指導法の工夫改善を行う。

卒業生の把握、卒業生のキャリアの活用については、やや低い評価である。卒業生については、今後関係施設と連絡を密にして卒業生の把握に努めていく。

(5) 学生支援

取組状況指標平均は、3.2である。

新入生に対する本校独自の奨学金給付や指定校推薦による入学金免除等の施策で経済的な支援が行われており、指標も比較的高い。

学生の経済状況については、個々の状況により修学資金貸付金を必要とする学生に、手続きを行い指導した。

卒業生に対する支援は、学校での相談や電話相談に応じているが、卒業生のキャリアアップについては、支援体制がやや不十分である。

高校との連携は、高校訪問やインターンシップ事業・進路ガイダンスにお

ける出前授業等を行っているが、コロナ禍のためインターンシップ事業は実施できなかった。

(6) 教育環境

取組状況指標平均は、3.2である。

介護用ベッドや備品について、順次計画的に最新のものを導入する計画である。昨年度、新たに介護用電動ベッドを2台設置することができた。防災体制は、消防署と連携し整備されているので高い評価になっている。学生には、交通手段が困難な学生に無料送迎を行っている。また、担任教師による個別面談を定期的に3回行い、必要に応じた面談も行うなどきめ細かな支援を行った。

(7) 学生の受け入れ募集

取組状況指標平均は、3.0である。

高校生の介護福祉士希望者が減少し、令和5年度の入学生は前年度より少なくなってしまった。来年度より従来の入試にAO入試を加え、入学希望者が入りやすい学校となるように見直しを図る。

また、職業訓練生の希望者も減少しており、定員を確保ができていないことは、学校経営上大きな課題であり、ハローワークと連絡を密にとり広報活動を行っていく。

(8) 財務

取組状況指標平均は3.1である。

学校の財務は、社会福祉法人神流福祉会が適切に行っている。

自己評価における45の「財務の安定」の数値は、定員確保ができていない状況を鑑みての結果である。財務の情報公開は、神流福祉会が学校を含めて行っている。

(9) 法令等の遵守

取組状況指標平均は3.4である。

指標の全てが、ほぼ適切を示している。個人情報保護の観点からロッカー一等の施錠、データ管理の厳格化(パスワードの導入等)を徹底していく。

(10) 社会貢献・地域貢献

取組状況指標平均は、3.0である。

コロナ禍のため、今年度も予定されていた地域の行事やボランティア活動

などが中止になることが多く残念であった。その中でも、地域ボランティア連絡協議会へ参加し情報を共有することができた。また、地元中学校でのキャリア教育講演会に出席し、本校の存在と介護福祉士について理解を深めてもらうことができた。今後も地域に開かれた学校として、行事やPR活動などを行い地域社会に貢献していく。